

青嵐中ライブラリー 読書月間特別号
先生方の
この一冊

令和4年11月
西東京市立青嵐中学校

「先生方のこの一冊」について、各先生からおすすめ文をいただきました。

「この一冊」の本は全て図書室に用意しています。ぜひ一度手に取ってみてください。

《図書室利用案内》

開室日・時間

毎日昼休み (図書委員による開室)

(月)・水・金の放課後

詳細は図書室カレンダーを見て下さい。

貸出冊数 1人 3冊

貸出期間 2週間



□■□ 図書館Q&A □■□

Q. 借りた本を破ってしまった！ 弁償？

A. 場合によります。可能な限り司書が専用の道具で修理します。セロテープを貼ったりせず、まずはそのままの状態、司書に報告して本を渡してください。また、どの図書館でもセロテープでの修理はお断りです。学校以外の図書館の本も、まずはその図書館の司書に相談してください。

Q. 同じ本を何度も借りたい！

A. お気に入りの本があって、常に手元に置いておきたい場合は、自分で買きましょう（買い方がわからなければ司書が相談に乗ります）。青嵐中学校図書館では予約が入っていなければ貸出し延長ができます。それでも、何度も延長を繰り返すことはできません。他の人も、その本と図書館で出会えるように、いったんお返しく下さい。全国には延長ルールのない図書館もありますので、「図書館の本は期間内に返す」を心がけましょう。

Q. 本を借りても最後まで読めなくて嫌だ

A. 小学校に比べると、中学校の本は厚みがあって文字が多くなり、読み切るのに時間がかかる本もあります。ただ、本は読み切らなくていいものもあります。物語を楽しむのではなく、情報を得る本もありますし、長い物語ではなく短編を数多く楽しむのも大切です。「完読」や「量」だけでなく、読んで感じた「あなたの気持ち」を大切にしてください。

校長

『ほんとうのリーダーのみつげかた』

梨木 香歩 // 著 岩波書店



ほんとうのリーダーに求められるのは「毅然として、穏やかであること」だが、著者はそのようなリーダーを自分の中にもてという。自分も実はチームなのかもしれない。迷ったり悩んだり弱気になったり、いろんな自分がいる。そういう自分を認めて、肯定し、一緒に耐えてくれる「ほんとうのリーダー」を自分の中に探したい。困難な時代に勇気を与えてくれる本です。



副校長

『20歳(はたち)のソウル』

中井 由梨子 // [著] 幻冬舎



2017年1月に、がんのため20歳の若さで亡くなった浅野大義さん(船橋市立船橋高等学校)の実話です。彼が所属した吹奏楽部での日々とともに、彼が作曲した運動部のオリジナル応援曲“市船ソウル”について書かれています。読んだときに涙、甲子園球場での応援席の姿を見てまた涙…

この夏は涙が止まらない夏となりました。

MT 先生（保健体育）

『赤い靴はいた』

あおき てつお // 著 草土文化



戦争の悲惨さを改めて実感できます。マンガなので、とても読みやすいです。

DS 先生（国語）

『強運の持ち主』

瀬尾 まいこ // 著 文芸春秋



「そしてバトンは渡された」「卵の緒」「あと少し、もう少し」の著者、瀬尾まいこさんの作品。とても読みやすく、一気に読みできます。主人公の占い師、ルイズ吉田と、その他ユニークな登場人物が出てくる四つの短編物語で構成されています。占い好きな人も、そうでない人も、ほのぼの温かい気持ちになれます！

NT 先生（国語）

『10代の本棚』

あさの あつこ // 編著 岩波書店



作家あさのあつこさんほか、様々な分野で活躍する 13 名の個性的な大人たちが、10 代の頃の読書体験を語っています。

その頃の心情やエピソードなどが語られていて、読む本に迷ったときの参考になると思います。

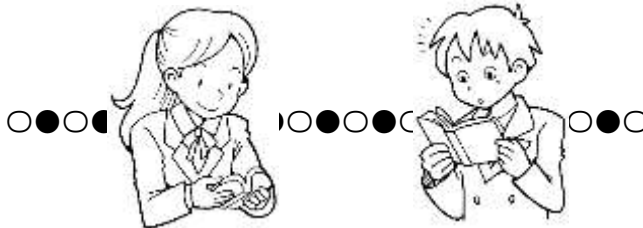
HH 先生（国語）

『罪と罰』

ドストエフスキー // 著 光文社



心が折れそうになるほど長い小説ですが、やはり長く読み継がれただけはある！ 主人公がまさに罪を犯そうとする瞬間の臨場感に満ちた描写が秀逸です。作者自身が銃口を向けられたことが作品の背景にあるとか。文豪の筆力をぜひ体感してみてください！



KI 先生（英語）

『ロマンス』

銀色 夏生 // 〔著〕 角川書店



「人を好きになると、世界の色がくらくら変わる」

中学生の私には心に残る一節でした。詩人銀色夏生さんの本に出会ったのは中学生のとき。仲良しの友人がすすめてくれました。これ以降新刊が出るたびに手に入れてきました。この詩集以外に写真と共に楽しめる詩集もおすすめです！

TN 先生（養護）

『暗幕のゲルニカ』

原田 マハ // 著 新潮社



ピカソの【ゲルニカ】は 1937 年、パリ万博スペイン館に展示するために制作された大作。縦 3.5メートル、横 7.8メートルのキャンバスに繰り広げられた阿鼻叫喚の図。逃げ惑う人々、いななき叫ぶ馬、驚愕して振り向く牝牛、倒れた兵士らが黒とグレーと白、モノクロームの色彩で描かれています。「空爆」という

軍事行動により、地上で何が起きるかをはっきり示している、つまり反戦のシンボルとして認識されている作品です。

物語は、この絵のタペストリーが、ニューヨークの国連本部でイラク攻撃を宣言する米國務長官の背後から消えていくことに始まります。メトロポリタン美術館のキュレーター八神瑤子は、ピカソの名画を巡る陰謀に巻き込まれていきます。名画が作成された過去と現代の話が同時進行していきながら、たどり着く一つの真実。残念ながら今、平和を維持することが困難な時代を迎えてしまっています。改めて、ピカソが絵に込めた思いをかみしめて、世界の人々が一日でも早く、安心して暮らせることを願い、この一冊を紹介します。

KT 先生 (IJ)

『嫌われる勇気 自己啓発の源流「アドラー」の教え』

岸見 一郎 // 著 ダイヤモンド社



人間関係の悩みが軽減し、ポジティブな気持ちになる一冊。

ぜひ読んでみてください。

SN 先生（英語）

『しをんのしおり』

三浦 しをん//著 新潮社



妄想が趣味の小説家、三浦しをんさんによるエッセイです。このように紹介すると、「三浦しをんって何者？」と思われるかもしれませんが、彼女は直木賞や本屋大賞を自称した経歴を持っています。

このエッセイは、とにかく面白い。電車内で読めば、笑いをこらえきれず苦しくなってしまうほど。読書が苦手というあなた、1話1話が短いのでおすすめです。

NT 先生（数学）

『クジラアタマの王様』

伊坂 幸太郎//著 NHK出版



昼間は会社員、夜は夢の中でRPGの戦士となり、二つの世界が交錯していくお話です。

RPGの部分はマンガになっているので小説が苦手な人でも読みやすく、またモンハンのようなゲームが好きな人にもおすすめです。

KA 先生（社会）

『兎の眼』

灰谷 健次郎//〔著〕 角川文庫



私が大学生の時に会った本です。「どんな先生になりたいのか」ということを考えていた時にこの本と出会ったことで、この本に登場するような先生でありたいと、強く思うようになりました。今でも自分にとって大切な本のうちの1冊です。

MN 先生（英語）

『LGBTってなんだろう？』

自認する性・からだの性・好きになる性・表現する性』

薬師 実芳//著 合同出版



皆さんは「SOGI (ソジ)」という言葉を知っていますか？「多様な性」について、わかりやすく学ぶことができる本です。



EY 先生（保健体育）

『容疑者Xの献身』

東野 圭吾//著 文芸春秋



TVドラマや映画にもなっている「ガリレオ」シリーズの一作品です。ある母娘がトラブルから殺人を犯し、それに気づき匿うために完全犯罪を企てる隣人の天才数学者。そのトリックを理解した時には本当に鳥肌が立ちました。シリーズを知らなくても楽しめる作品なので、ぜひ読んでみてください。

TA 先生（社会）

『百まいのドレス』

エレナー エスティス//作 石井 桃子//訳

ルイス スロポドキン//絵 岩波書店



図書館で借りた『子どもの本の持つ力』(清水真砂子)に紹介されていた本は60冊。その中の一冊が、この絵本。

取り返しのつかないことをしてしまった。許してもらえるのか、許されるものなのか。主人公の名前はマデライン。

KT 先生（音楽）

『空中ブランコ』

奥田 英朗//著 文芸春秋



トンデモ精神科医・伊良部一郎を中心とした、連続短編小説シリーズ。様々な悩みを抱え精神科を訪ねる患者達を、精神科医・伊良部が破天荒な治療で困惑させつつ解決？に導いていく。「悩み」は人それぞれありますが、「まあ、こんなもんか」と思わせてくれる、気軽に読める1冊です。

TY 先生 (IJ)

『奇跡のバックホーム』

横田 慎太郎//〔著〕 幻冬舎



野球が好きな人、スポーツが好きな人、大好きなことに熱中している人、必見！

困難なことにぶつかってくじけそうになっている人に勇気を与えてくれる、感動の実話です。

MH 先生（美術）

『13 歳からの地政学』

カイソクとの地球儀航海』



田中 孝幸 // 著、東洋経済新報社

高1の兄と中1の妹が「海賊」にいなわれて、地球儀上の世界旅行をする、という体で、世界の国々の関係性について学ぶ本。テレビやネットなどで知ってはいても「なぜ、そうなるの？」と思っていたことが次々につながって、納得するところ満載です。それぞれの国の事情が少しずつ分かってくると、「もっと仲良くする方法」を考えようという気持ちになってきます。



KS 先生（家庭科）

『水族館ガール』

木宮 条太郎 // 著 実業之日本社



水族館に展示してある生き物を見ると、どんな感想を持ちますか。イルカやアシカショーを見ると、きっと「かわいい！」と感じることが多いと思います。本当にかわいい生き物なのか、イルカにどうやって演技させるのか・・・気になりませんか？ 主人公の由香の失敗や挫折しながらも一生懸命に働く姿も読んでいて元気をもらえます。

表紙はポップでも、内容は濃い 1 冊です。生き物が好きな人、将来の職業について考えたい人、特におススメです！水族について語りましょう！！

YS 先生（英語）

『バナナの魅力を』

100 文字で伝えてください

誰でも身につく 36 の伝わる法則』



柿内 尚文 // 著 かんき出版

“バナナの魅力”をあなたなら、どんな風に伝えますか。この本では“ちょっとした伝わるコツ”を紹介しています。何か一つでも、自分に必要だと思うコツを意識して、アウトプットに活用できるといいです。



YH 先生（社会）

『13 歳のきみと、戦国時代の「戦」の話をしよう。』

房野 史典 // 著 幻冬舎



知識ゼロから読める面白歴史入門書！めっちゃめっちゃふざけているようで、実はとても真面目な人で、いますよね。この本はそういうタイプです。とにかく一度、目次を見てみてください！

KK 先生 (J)

『日本人の知らない日本語 ①～④』

なるほど～×爆笑！の日本語“再発見”コミックエッセイ』

蛇蔵&海野 凧子 // 著 KADOKAWA



日本語の“おもしろさ”と“難しさ”を再認識することができるマンガです！日本語学校で講師をしている筆者が、実話を基におもしろおかしく、外国人生徒たちとのやり取りをまとめた人気シリーズ。普段何気なく使っている日本語ですが、きっとあなたもまだ知らない、日本語の新しい一面に出逢えますよ！！



TO 司書（学校司書）

『宮沢賢治と学ぶ宇宙と地球の科学』

1～5』

柴山 元彦 // 編、西村 昌能 // 著 創元社



宮沢賢治の作品は、誰もが一度は読んだことがあるでしょう。児童文学と詩を中心とした彼の作品では、目前の豊かな自然をはるかに広がる時間と宇宙の中でとらえた描写がたくさんあります。ご紹介するシリーズは、宮沢賢治の作品を引用し

ながら、高校内容の地学を学ぶ教科書になっています。地学の教師でもあった宮沢賢治の知識と、最新の知見を比べることで、作品への理解が深まります。このシリーズをめくっていると、天体望遠鏡とルーペで自然を観察していた、学生の頃の自分を思い出しました。文系でしたが、宮沢賢治作品のおかげで地学への興味を持っています。